

蔵王山安善寺

◆編集・発行人◆
近藤真弘

〒940-0052
長岡市神田町1丁目4番10
TEL.0258-32-2811

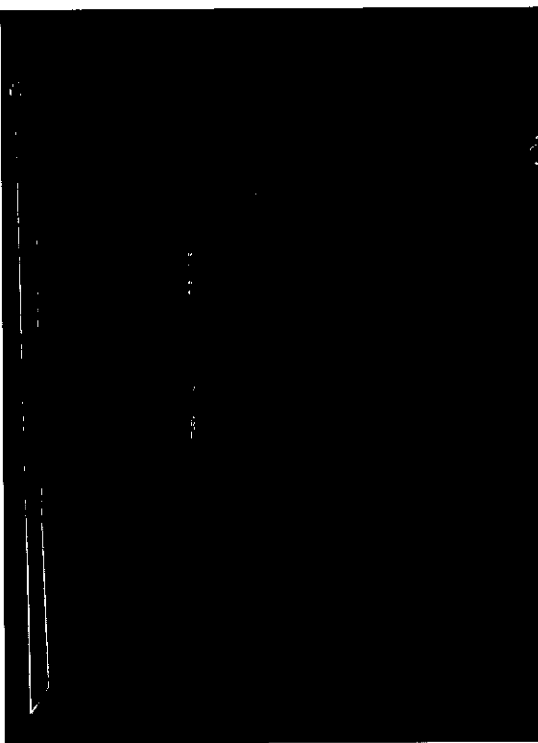
◆スタッフ◆
小林国二・高橋 潔・高橋利春
屋代 健・飯泉隆史・山内芳次
近藤龍弘・近藤マリ子・近藤久美子
印刷・(株)中央印刷

『ありのままの真理をみつめて』

泰忍 弘

前号の季刊蔵王山安善寺の発刊が三月十日でありました。原稿を書いていた二月中旬にコロナウイルスの問題がここまで大きくなるとは予想もしておらず、まずもって亡くなられた方に対して心からお悔やみ申し上げるとともに、い

ち早くの終息と現状回帰をご祈念申し上げます。この度の事で生活状況が一変された方も多くおられるのではないかと存じます。今まで当たり前だったことが有り難く感じ、まさに諸行無常を感じさせる出来事でもございます。



「處處全真」揮毫 中俣天游先生

「山川異域 風月同天」(さんせんいきをことにすれどもふうげつてんをおなじうす)これはコロナウイルスがまだ日本で猛威を振るう前、中国が大変な時期に、日本から送ったマスク等の救援物資の箱に書かれていた漢詩です。意味は「中国と日本に同じ川はない。しかしながら風も月も同じだ」です。この言葉に中国の人達は大変感動したと、当時ニュースで取り上げられていました。調べてみると、この漢詩は約1300年前に天武天皇の孫、長屋王が唐の僧鑑真に送った袈裟に刺繍されていた言葉とのこと。この漢詩には続きの言葉があります。それが「寄諸仏子 共結来縁」(これをぶつしによす

ともいらいえんをむすばん)です。意味は「この袈裟を仏弟子に喜捨し、共に仏縁を結ぼう」です。このお袈裟を受け取った鑑真は大変感動し、日本の仏法興隆に寄与するため困難な航海をして6度目できるようやく日本に渡来し、日本仏教にとって多くの功績を残されました。

この日本からの漢詩に対して今度は日本がマスク不足に陥った際、中国大手アリババグループのジャック・マー氏は唐代の詩人王昌齡の「青山一道 同担風雨」という漢詩を添えた救援物資を日本に送りました。これは「同じ山を見る近隣同士、ともに風雨に耐えよう」という意味です。お互いが困ったときにこのように国を超えての助け合いは大変有難く騒動の中で曇った気持ちを晴れさせてくれるものであります。

写真の言葉は「處處全真(しよしよぜんしん)」と読みます。碧巖録(へきがんろく)という中国宋代の仏教書であり、禅宗の語録である書物にある言葉です。處處とは所々ではなく、いたるところという意味で、全真はすべてのものが真理の当体そのものであること。ありのままの姿に、真理のすべてが現われているという意味です。この書は安善寺の坐禅会においてになる方から寄進されたもので、揮毫されたのは新潟県の小千谷市にお生まれになり、県内で教壇に立ちながら書家として活躍された中俣天游先生です。平成九年にお亡くなりになるまで日本書道教育学会評議員・審査員、県書道会参事などを歴任されました。力強い字で書かれた「處處全真」ありのままの姿に、真理のすべてがあらわれる。すなわち自身自身が立っているその場所が真実、真理であり、それは自分が理想に描き、望み求めるものとは違うことも当然あります。順風満帆ばかりの人生などありません。

現在、大変な世の中ではありますが、今の現実をしつかりと見つめ、自分という主体を見失うことなく日々を重ねていきたいものです。

ご家族の皆さままでご覧ください

【越後曹洞宗名刹巡り】

越後四ヶ道場

雲洞庵の土踏んだか：

南魚沼市 雲洞庵

〒九四九-1654 新潟県南魚沼市雲洞六八〇
www.untouan.com/



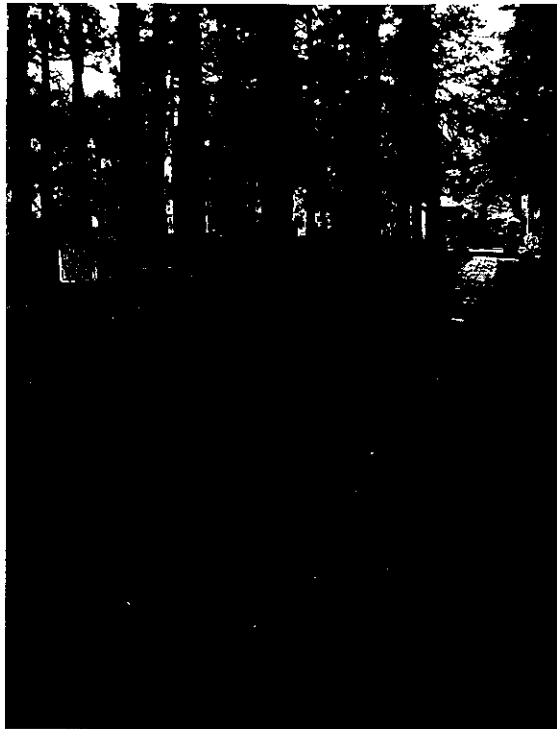
www.untouan.com/

南魚沼市金城山の麓に所在する曹洞宗のお寺「雲洞庵」は村上市の「耕雲寺」、五泉市の「慈光寺」、新潟市の「種月寺」と共に越後四ヶ道場の一つです。

一三〇〇年ほど前の奈良時代、藤原房前公(藤原鎌足の孫)の母君が出家して当地に庵を結び、金城山から湧き出る霊泉で沢山の病人を救いました。母君亡き後、薬師如来を携えてこの地を訪れた房前公は、母親の菩提を弔う金城山雲洞庵を建立されました。以来、藤原家の尼僧院として律宗に属し、約六〇〇年間にわたり特に女人救済の庵寺として大変栄えたのです。その後、今から六〇〇年ほ

ど前の室町時代、関東管領・上杉憲実公が藤原家末裔の因縁で庵をうけ、曹洞宗雲洞護国禅庵を開創し、以降、北陸無双の大禅道場として栄えてきました。

本堂(新潟県指定文化財)は室町時代永享年間、上杉憲実公によつて建立されました。その後一七〇七年(宝永四年)に、新潟県出雲崎の小黒甚内を棟梁とする大工群によつて再建さ



法華経が埋められている石畳の参道

れた寺院は、近世寺院建築の最も優れたものとされています。また、赤門から本堂に続く参道の石畳の下には、一石一字づつ法華経が認められて埋められており、この石畳を踏みしめてお参りすると、多くの御利益に預かると信仰されています。かつては一大修行道場で

あった雲洞庵には、往時の坐禅堂や壮大な伽藍が、うっそうと茂る杉林の中に佇んでいます。二〇〇九年に放送された大河ドラマ「天地人」では幼少期の直江兼続、上杉景勝が学んだ寺としてその舞台となり子役の「わしはこんなとこ、来とうはなかつた!」でも有名になりました。



1429年(永享元年) 関東管領家より10万石の格式をいただき建立された赤門

曹洞宗 瑩山禪師 御誕生寺参拝と

古都 奈良寺院巡りの旅

『団体参拝旅行』

以前からご案内しております九月七日～九日の安善寺団体参拝旅行は予定通り行います。

旅の際は、国土交通省、観光庁の推奨する「新しい旅のエチケット」を遵守しつつ、出来る限りの対策を講じます。是非多くの皆様のご参加をお待ちしております。尚、諸事情により二日目の宿泊宿が「若草山 三笠」から「奈良パークホテル」に変更となりました。

今後のコロナウイルスの状況により急遽予定変更になる可能性もございます。お申し込みの方はご理解ご承知おきくださいませ。

- 期日 令和2年9月7日(月)～9日(水) (2泊3日)
- 旅費 63,000円也
- 申込金 10,000円(旅費充当)
- 人数 40名様
- メ 切 令和2年8月14日(金)

旅行企画・実施

新潟ヒューズ観光

長岡市学校町3-12-4
 TEL 0258(34)4848
 FAX 0258(34)0227
 E-mail nigateab@sjeans.ocn.ne.jp

新潟県知事登録旅行業2-143号
 総合旅行業務取扱管理者 飯泉隆史

9/7 (月)	安善寺 IC	長岡 (北陸道)	武生 IC	瀧雅 (昼食)	曹洞宗 瑩山禪師	御誕生寺 IC	武生 IC	信貴山 (宿坊)
9/8 (火)	信貴山	朝の勤行 護摩祈禱	9:00 法隆寺	飛鳥寺 (飛鳥大仏)	あすか野 (昼食)	石舞台古墳	法相宗大本山 薬師寺 興福寺 (国宝館)	奈良パークホテル
9/9 (水)	奈良	萬福寺 黄檗宗大本山	滋賀県一之宮	多賀大社 (参拝・昼食)	彦根 IC	(名神高速・北陸道)	長岡 IC	安善寺

新型コロナウイルスに伴う今後の安善寺行事について

『八月のお盆諸行事』

八月一日の新盆施食は予定通り法要を行います。法要後のお齋はお弁当をお持ち帰りいただきます。

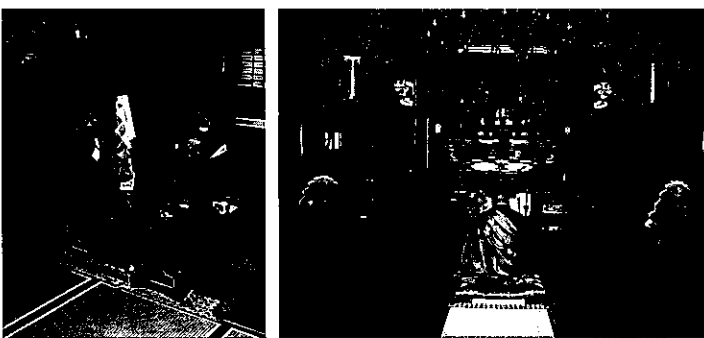
十三日の本堂での盆礼受け、夜間の盂蘭盆会法要、十四日の新盆棚経、十五日のお盆のご供養法要は例年通り行います。

来寺の際はマスク着用にご協力ください。アルコール除菌の設置、席の配置、換気等、出来る対策を致します。



ご報告

本年はすでにご案内の通り、毎年六月十二日に厳修しております。大般若法要を山内並びに妙喜寺様に御随喜(お手伝い)賜り、厳修させていただきました。今回は住職になり初めての大師若の導師でした。お参りの無い中ではありましたが、檀信徒皆様のご健勝、世界平和、コロナウイルスの早期終息を願い法要を勤めさせていただきました。



6月12日 大般若法要 世界平和、新型コロナウイルスの早期終息、皆様のご健勝祈願

台湾・芝山巖と日本人② 台湾における日本人の姿を追って

ながおか史遊会 湯本 泰隆

井沢と共に台湾へ向かったのは、山田耕造、楫取道明、関口長太郎、中島長吉、桂金太郎、井原順之助、平井数馬の7名でした。これらの人物たちが、草創期の台湾教育にそれぞれ志を持ち、なみなみならない使命をもつてあつていたわけです。学校では、日本人と台湾人が相互の言語を学んで、互いを理解していくことから始めなければならぬという理念のもと、孔子廟など台湾人の尊崇する文化・宗教を尊重する方針がとられました。学校はしだいに地域住民にも受け入れられ、生徒数も増えていきました。

堂に泊まり込んで研究に没頭したといえます。当時に書かれた記録をみると、教師たちが死を覚悟した上で、使命に当たっていたことがよく伝わってきます。ところが事件は起こります。士林一帯の叛乱勢力が蜂起したのです。このとき、伊沢と山田は本土へ帰国中で台湾に不在でした。芝山巖も襲撃対象となつており、残された学務官僚たちは襲撃にやつてきた暴徒を説得しようとしていますが、叶わず惨殺されてしまいました。1896(明治29)年元日のことでした。

6名の死後、現地では墓が建てられ、また殺害された日本人たちの魂を祀つた芝山巖神社が建てられました。そして、「台湾教育の聖地」として大切にされたのです。ところが戦後になると、蒋介石率いる国民党によつて、その歴史的評価が180度代わつて

の出来なかつた久坂玄瑞と文(松陰と寿の妹)夫婦の養子となり、玄瑞の死後に家督を継ぎますが、のちに玄瑞が京に滞在していたところに設けた秀次郎が認知されて久坂家を継ぐと生家に戻り、楫取道明と名乗りました。享年38歳。

関口長太郎は、1859(安政6)年生まれ。愛知県出身。父親は西尾藩五石三人扶持、吟味役附方台所掛の宇左衛門。士族として生まれたので、勉学の機会には恵まれ満



台湾で殺害された学務官僚たち。【臺灣土語叢誌】第八號より
奥：中島長吉、井原順之助、平井数馬
前：桂金太郎、楫取道明、関口長太郎

七歳のときに藩校「修道館」に入學。秋山恬堂らの指導を受けました。修道館で6年間学ぶと名古屋の佐藤牧山塾に入り、漢学を磨く傍ら英語や数学の素養も身に付けています。1873(明治9)年、新設後間もない愛知県尋常師範学校へ入學。当時、伊沢が校長を務めており、これが伊沢と関口との出会いでした。関口は生涯を教育に尽くす決意をし、中島郡の小学校を皮切りに赴任。満29歳で錦城学校校長を務めました。水野右膳

という人物と共に「愛知県知多郡地理誌」を著しています。享年37歳。

中島長吉は、群馬県出身。16歳のときに上京し、丸山という人物の元で働きたがら勉強をし、東京府尋常師範学校を得て麹町富士見小学校の教師になりました。その後も勤務の傍ら、支那語(中国語)を研究。1893(明

治26)年には日清協会を設立、一時は上海に暮らすことも考えていたようです。日清戦争が始まると通訳官となり、1895(同28)年にて台湾に渡り、そのままが学務官僚として伊沢の下で働きます。中島は、台湾における音楽教育の効用を指摘し、日本に一時帰国した伊沢に対し、楽器を持ち帰ることまで依頼していたといひます。著書に「支那語学階梯」があります。享年25歳。

桂金太郎は、旧幕臣桂信行の長男として1872(明治2)年東京府に生まれました。東京府尋常師範学校に進学。卒業後は、府内の瑞穂小学校や番町小学校で勤務していましたが、知人の推挙により台湾に渡り、伊沢のもとで働くことになりました。享年27歳。

井原順之助は岩国藩士井原右左助の息子で、1872(明治5)年に珂玖川下町に生まれました。1890(同23)年岩國公立学校卒業後、山口高等中学に入學しましたが、

時勢に身を感じ陸軍を希望し、退学します。ところが、視力に故障があり、入隊試験が通らず、目的を渡欧に変え、語学研究の傍ら、外国の新聞を翻訳して山口防長新聞などに投書していましたが、台湾が領土となると自ら進んで学務官僚を志願し、芝山巖学堂勤務となりました。享年23歳。

平井数馬は熊本県の出身で、小学校卒業後に済々黌中学校に入學。剣道や柔道に長けていたそうです。日清戦争勃発後、同校に志那語学部が設けられたことをきっかけにその研究をはじめ、卒業後に渡台湾しました。最年少で台湾へ渡り、半年で台湾語の全容を掴んだといわれています。通詞としての職務もあつたようで、編纂書に『台湾語』があります。享年17歳。

【筆者プロフィール】

1984年12月21日生まれ。ながおか史遊会を主宰、にいがた史遊会やゆきぐに史遊会の設立に関与するなど、地域に根ざる文化財を探索しながら、研究者と市民をつなげる活動や講演、執筆なども行っている。長岡市在住。

東堂和尚のひとりごと (第二回)

安善寺のカラスは大切な家族の一員

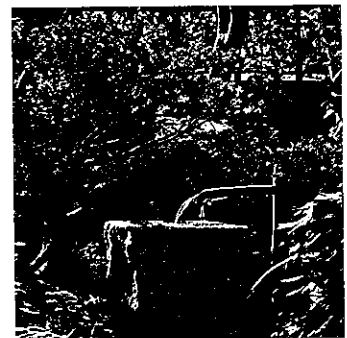
安善寺の境内には、昔からカラスが住みついでおり、親カラスから子カラスへと代々引き継がれているようです。昔はよく「トントン・カンカン」と突く音がするので、誰かが仕事でもしているのかと音のする方に行ってみると、カラスが庫裏や本堂等の窓ガラスを突いていたり、遊びのつもりか、結構悪いことをしており、その都度「コラ！」と叱っておりまして。

三十ほど前、まだお寺で猫を飼っていない頃でした。玄関前で子カラスが野良猫に襲われ、足等にけがをして飛べなくなり、親カラスが近くの枝の上から心配そうに必死に鳴いておりました。家内が、子カラスを放っておけなくて、玄関の中にいれ、二日ほど面倒をみておりましたが、少し足こそ引きずっておりましたが、みるみる元気になる、もう大丈夫と外に

だしましたら、玄関近くの枝に心配そうに止まっている両親の元へ飛んでいき、其の後、悪戯等は全くなりませんでした。何年か、玄関前に足を引きずりながらも、穏やかな顔のカラスをよく見かけたものでした。

季刊誌でもお馴染みの初代「ペコ大蔵」は、平成元年七月から寺の住人になりました。神田公園に捨てられていた子猫でしたが、寺の子供達に拾われ、皆に可愛がられていました。しかし、カラスにとつては、猫は敵、危険な存在であるらしく、ペコがお寺に来てから十数年後

当時のカラスの家族より先輩にもかかわらず、ペコの姿をみるとチームワークよろしく、ペコに向かつて襲ってきます。その様子を見ていた私は「カー君やここにいる猫はペコと言ってお寺の可愛い猫ちゃんだよ。カー君達を襲ったりしないから、カー君達もペコちゃんを苛



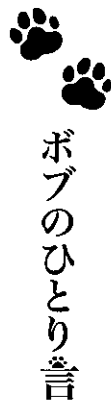
安善寺に代々住みつくカラス

めないでよ」と言うと、大きな目をキョロキョロして、怖い声で鳴いていたのを止め、優しい顔で私とペコを見ており、其の後にはペコには威嚇することもなくなりました。

安善寺のカラスは大事な存在で、他のカラスが来ると縄張り意識か、家族協同で、追い払い、多数のカラスのたまり場になるのを防ぎ、野良猫がやってくるのをこれも見事な協力的な制で追い払い、他の小鳥たちも自然に守られております。犬・猫も含み、お寺の家族のことを把握しており、今では境内のカラスも大事な家族のようです。カラスは頭が良く、苛めた人間を覚えており、攻撃してくるようですが、毎年、境内の違う木に巣をつくり、共存していると愛おしくなるものです。



脳が元気になるよ!



このご時世にもかかわらず、猫である私は自由そのもの。天気の良い日はお日様の匂いが私を誘惑する。そわそわ…そしてモモの目を盗んで日差しの中へ。そこはまさしく新緑の真ただ中。朝露に濡れた葉っぱから、少し湿った土から、爽やかな朝の風から…境内地のあらゆるところから感じられる初夏の匂いが鼻腔をくすぐる。

のんびりと朝の散歩を楽しんでいると、お気に入りの「鬼滅の刃マスク」姿で登校する真人君と悠真君に出くわ



した。二人はマスクに慣れない頃、つけることを嫌がった、忘れたりとしていたのに、今ではマスクをつけるのが当たり前になったようだ。登下校中も暑いだろうにしっかりとマスクをしている。自分を守り、相手を思いやる気持ちの表れのマスク、とても大事だが、周りの状況を見て判断して時々はずしてみるのも悪くない。新緑の中に身を置き、両手を広げて大きく息を吸い、目から、皮膚から耳から鼻から、体中から季節を感じてみると猫の私ですら自分が

真っ新になつていく気がするのです。新緑の中だけでなく普段の何気ない生活の中にも五感をくすぐるものはたくさんありそうだ。窓から差し込む朝の陽光、おいしい食事、洗濯物の匂い、ベランダ

から入る夜風や虫の声。夜行性の私にとっては夜のベランダでまったりするのも大好きだ。五感を刺激すると疲れた脳が元気になるらしい。17歳という私の老体が若さを保つていられるのは秘密の夜の散歩と階下のモモが私に向ける叫び声が私の脳を刺激してくれているからに違いない。そうそう匂いといえはちよつと面白い話が…。ある日、久美さんがマリ子ばあばに古めかしいことをさして、「なんだか昭和の匂いがあるね」と言ったら、脇からすつと悠真君がぎてマリ子ばあばの周りをクンクンと嗅ぎだしたではありませんか!!昭和の匂いとはどんなものなんだろうと真剣に嗅いでいた悠真君でした。(笑)素直な悠真君の行動に家族みんなの脳が一気に活性化したのは言うまでもありません…にゃん!!

第九十一号、秋号は令和二年九月十一日(金)発行予定です

お便り原稿川紙

季刊誌では、種信徒・読者の皆さまと、ごいっしょに誌面をつくりながら、コミュニケーションを深めたいと思います。ハガキまたはお手紙、ファックスなどで、お気軽にお便りをお寄せください。お待ちしております。

原稿の例

- 思い出話／ご家族、ご先祖、お寺の思い出話など。
- 私に言わせて／家事や子育てのお話、身近な出来事など。
- 教えてください／仏事のしきたりや疑問(編集部や住職がお答えします)など。
- 嬉しい・楽しい／嬉しかったこと、楽しかったこと、悲しかったこと、怒ったこと。

編集 雑感
6月23日朝刊1面に久々に嬉しいニュースが飛び込んできました。「日本スパコン世界一奪還」の記事です。日本のスパコン京の後を継いで新しく開発された「富岳」が計算スピードから解析能力等4部門で世界1位となり、米国を2位3位、中国を4位5位に退けた。
民主党政権時代に事業仕分けで蓮舫氏が「2位じゃ駄目なんですよか」と言った、その蓮舫氏が「努力に敬意を表する」とした。

来る日も来る日も新型コロナウイルス関連の記事ばかりでウンザリの所日本人の心をスッキリと嬉しくさせてくれるニュースでした。新型コロナウイルスの治療薬の開発やウイルスの構造分析、感染の広がり方の解明などにも役立てることが出来るとの事、楽しみです。緑、青、紫、白、ピンクと形も色々の花、紫陽花が我が家の庭で色つき満開です。今年は4月5月6月と行動自粛で休日等は庭の草取りや庭木の手入れ、妻の手を借りながらやりました。枝切りや防除等は立つて出来るので楽しいのですが、草取りは腰も痛くなり大変です。でも終わった後にひと風呂浴びてのビールは格別です。何か今年の庭木は元気が良く花もたくさん付いている様です。これも新型コロナウイルス禍の成すところでしょうか。
日本では感染者が1.8万人超、死者は1千人弱と少ない様ですが、世界では感染者が830万人、死者は45万人超でブラジルだけでも死者は5万人超、それでも海水浴等マスクもせずに大勢で行動しているとの事。日本では治まった様には見えませんが各自行動を自粛し、感染防止を行っているから、と思います。
これからも十分注意し、ワクチン特効薬の早期完成を祈念致します。
高橋利春